

- 2～3 高齢者いきいき活動ポイント事業／地域産業を支える人材を育てるために／化学物質過敏症／平和宣言 など  
4～5 **特集** 地域の人々で取り組む防災  
6～8 暮らしのガイド、施設のイベント



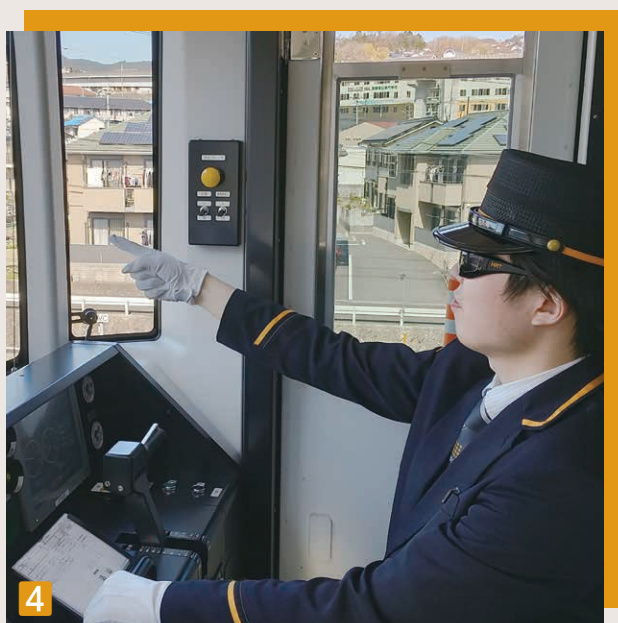
◀ 広報紙がスマホで読めます(10言語対応)



1  
アストラムライン開業30周年

今月20日に開業から30周年を迎えるアストラムライン。これまでの歩みを振り返りながら、日々の車両点検の様子と開業記念イベントを紹介します。  
広島高速交通(☎830-3111、☎830-3114)

# 安全で快適な運行をこれからも



## これまでの歩み

平成6(1994)年8月  
開業

同年10月

アジア競技大会で、主会場の広島  
広域公園へのアクセス路線として  
多くの人に利用される

平成27(2015)年3月

JRとアストラムラインを結ぶ「新白  
島駅」が開業し、市内の移動がより  
便利に

令和2(2020)年3月

振動と騒音を抑制し、さまざまな  
バリアフリー化を行った新型車両  
を導入

## 渋滞緩和やまちの発展に貢献

交通渋滞の解消のため、1994年8月に導入された新交通システム「アストラムライン」。日本語の「明日」、英語の「トラム(電車)」と「ライン(路線)」を組み合わせた名前です。全国1万5986件の応募の中から選ばれ、「明日に向かって走る電車」などの意味が込められています。開業から30年間、渋滞の緩和や沿線のまちの発展などに貢献してきました。

## 日々の点検で安全に運行

安全に運行できるよう、車両基地で車両の点検と整備を行う寺下直希さん(26・写真2)。「点検はシステムでの管理と、目視・触手で行っています。例えば、車輪は点検ハンマーで叩く音を聞きナットが緩んでいないことを確認しています。出発した車両がトラブルなく無事に帰ってくる姿を見ると、仕事のやりがいを感じると同時に、その責任へ背筋が伸びますね」と話します。

関係者以外は通常入ることのできない車両基地。そこを会場に、30周年記念イベントが開催されます(右記)。詳しくは、広島高速交通ホームページで。

アストラムライン

検索



- 1 車両基地内で点検を待つ車両 2 車両に電気を供給する部品の点検  
3 運行中の車両(上)と車両基地に戻ってくる車両(下) 4 走行路の照り返しが強いので、乗務員は保護眼鏡を掛けて運転

## オリジナル商品が作れる！ユニクロUTme!コラボ

アストラムラインのロゴを使ってオリジナルTシャツなど(右写真・有料)が作れる、ユニクロUTme!とのコラボレーションを実施中。9月23日(休)10:00～16:00はマスコットキャラクター「アストラムラインくん」がやってくる！



【場所】ユニクロイオンモール広島府中店(府中町大須二丁目1-1)

## 車両基地で開催！「アストラム秋のファンまつり」

【日時】10月19日(土)、20日(日)の10:00～15:00

【場所】アストラムライン車両基地(安佐南区長楽寺二丁目12-1)

【内容】保守作業車乗車体験、鉄道グッズ・廃車部品の販売、6000系車両運転台(右写真)での操作体験 など



この記事は、主に右記SDGsのゴールの達成に役立つものです。  
【SDGs…持続可能な開発目標】

11 住み続けられるまちづくりを